

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市大崎むつみの里
(2)施設概要	①所在地 緑区大崎37-1 ②施設の設置目的 障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、障害者及び障害児の福祉の増進を図る。 ③施設の概要 事業指定年月 【第1事業所】平成19年4月 【第2事業所】平成18年10月 敷地面積 5,272.00㎡ 延床面積 4,355.96㎡ 構 造 第1事業所:鉄筋コンクリート造 4階建 鉄筋コンクリート造 平屋建 第2事業所:鉄筋コンクリート造 平屋建 事業内容 【第1事業所】生活介護事業(定員70人) 自立訓練(機能訓練)事業(定員10人) 自立訓練(生活訓練)事業(定員10人) 就労移行支援事業(定員15人) 就労継続支援事業B型(定員55人) 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援) 【第2事業所】児童発達支援事業(定員30人) 保育所等訪問支援事業 相談支援事業(特定相談支援・障害児相談支援)
(3)指定管理者	社会福祉法人 さいたま市社会福祉事業団
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和4年度226,268千円、令和5年度226,268千円、令和6年度226,268千円

(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ＜生活介護事業＞ ・利用者数 11,875人(前年度11,198人) ・稼働率69.5%(前年度65.6%) ＜自立訓練(機能)事業＞ ・利用者数1,571人(前年度1,316人) ・稼働率64.7%(前年度54.2%) ＜自立訓練(生活)事業＞ ・利用者数528人(前年度663人) ・稼働率21.6%(前年度27.2%) ＜就労移行支援事業＞ ・利用者数116人(前年度175人) ・稼働率3.2%(前年度4.8%) ＜就労継続支援B型事業＞ ・利用者数7623人(前年度8,223人) ・稼働率56.8%(前年度61.3%) ＜児童発達支援事業＞ ・利用者数 5,214人(前年度5,403人) ・稼働率74.0%(前年度76.0%) ＜保育所等訪問支援事業＞ ・契約者数 20人(前年度23人) ＜相談支援事業＞ ・利用者数 291人(前年度273人) ◇業務実施状況 ・総合防災訓練(年2回)・水防法による避難確保計画に定められた避難訓練 ・むつみ祭・健康診断・歯科検診・市街地外出活動等 ②維持管理業務の状況 ・建物設備保守管理業務(日常管理業務、空調排気設備、消防設備点検、昇降機設備点検、その他の設備、防火対象物定期点検) ・清掃業務(床・カーペット清掃、硝子清掃、害虫駆除、樹木消毒等) ・自家用電気工作物保安管理業務(需要設備点検、発電設備点検、高圧盤清掃) ・施設警備業務 ・浴槽水質検査業務(レジオネラ菌検査)																																																
(6)収支状況	①収入 <table><tr><td>・指定管理料収入</td><td>226,268千円</td><td>(前年度 226,268千円)</td></tr><tr><td>・障害福祉サービス等事業収入</td><td>303,716千円</td><td>(前年度 288,282千円)</td></tr><tr><td>・委託料収入</td><td>46千円</td><td>(前年度 0円)</td></tr><tr><td>・就労支援事業収入</td><td>6,956千円</td><td>(前年度 5,188千円)</td></tr><tr><td>・その他</td><td>7,156千円</td><td>(前年度 9,308千円)</td></tr><tr><td>・前期末支払資金残高取崩</td><td>2,752千円</td><td>(前年度 3,364千円)</td></tr><tr><td>・人件費積立資産取崩</td><td>7,202千円</td><td>(前年度 23,840千円)</td></tr><tr><td>・修繕積立資産取崩</td><td>0円</td><td>(前年度 3,000千円)</td></tr></table> ②支出 <table><tr><td>・人件費</td><td>390,948千円</td><td>(前年度 408,196千円)</td></tr><tr><td>・事務費</td><td>10,301千円</td><td>(前年度 11,722千円)</td></tr><tr><td>・施設管理費</td><td>81,609千円</td><td>(前年度 77,056千円)</td></tr><tr><td>・事業費</td><td>16,065千円</td><td>(前年度 16,063千円)</td></tr><tr><td>・繰入金支出</td><td>34,241千円</td><td>(前年度 34,241千円)</td></tr><tr><td>・就労支援事業支出</td><td>6,956千円</td><td>(前年度 5,188千円)</td></tr><tr><td>・その他の支出</td><td>5,743千円</td><td>(前年度 4,829千円)</td></tr><tr><td>・本部追加繰入金</td><td>3,815千円</td><td>(前年度 0円)</td></tr></table>	・指定管理料収入	226,268千円	(前年度 226,268千円)	・障害福祉サービス等事業収入	303,716千円	(前年度 288,282千円)	・委託料収入	46千円	(前年度 0円)	・就労支援事業収入	6,956千円	(前年度 5,188千円)	・その他	7,156千円	(前年度 9,308千円)	・前期末支払資金残高取崩	2,752千円	(前年度 3,364千円)	・人件費積立資産取崩	7,202千円	(前年度 23,840千円)	・修繕積立資産取崩	0円	(前年度 3,000千円)	・人件費	390,948千円	(前年度 408,196千円)	・事務費	10,301千円	(前年度 11,722千円)	・施設管理費	81,609千円	(前年度 77,056千円)	・事業費	16,065千円	(前年度 16,063千円)	・繰入金支出	34,241千円	(前年度 34,241千円)	・就労支援事業支出	6,956千円	(前年度 5,188千円)	・その他の支出	5,743千円	(前年度 4,829千円)	・本部追加繰入金	3,815千円	(前年度 0円)
・指定管理料収入	226,268千円	(前年度 226,268千円)																																															
・障害福祉サービス等事業収入	303,716千円	(前年度 288,282千円)																																															
・委託料収入	46千円	(前年度 0円)																																															
・就労支援事業収入	6,956千円	(前年度 5,188千円)																																															
・その他	7,156千円	(前年度 9,308千円)																																															
・前期末支払資金残高取崩	2,752千円	(前年度 3,364千円)																																															
・人件費積立資産取崩	7,202千円	(前年度 23,840千円)																																															
・修繕積立資産取崩	0円	(前年度 3,000千円)																																															
・人件費	390,948千円	(前年度 408,196千円)																																															
・事務費	10,301千円	(前年度 11,722千円)																																															
・施設管理費	81,609千円	(前年度 77,056千円)																																															
・事業費	16,065千円	(前年度 16,063千円)																																															
・繰入金支出	34,241千円	(前年度 34,241千円)																																															
・就労支援事業支出	6,956千円	(前年度 5,188千円)																																															
・その他の支出	5,743千円	(前年度 4,829千円)																																															
・本部追加繰入金	3,815千円	(前年度 0円)																																															

(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	○生活介護事業:利用者向けアンケート・家族向けアンケートを合わせて33回答をいただき、すべての意見に対し回答を掲示した。利用者ご家族から送迎車の乗降場所の変更希望等のご意見がありました。年度内に送迎車のルートや乗降場所等の見直しを行い、令和7年度よりご希望に近づけた運行が実施できるようにした。 ○自立訓練事業:機能訓練事業では、送迎サービスの利用者ニーズに応えられるよう運用体制を整備し、また他事業利用者と同乗するなどして年間延べ675件、週の平均で13.2件の送迎を実施した。生活訓練事業では、活動アンケートを実施し、集団活動を多く実施した。また卒業した利用者との交流の中で、進路について前向きに考えられ、新たな就労に結び付いた方がいた。 ○就労継続支援B型事業:自治会活動で利用者間で話し合い、行事を実施できるように支援を行った。利用者アンケートや行事等のアンケートをとることで利用者からの意見を生かすように努めた。 ○児童発達支援事業:門や玄関は園児が開けて危険のないようになっているが不審者等への対応が心配との声をいただいた。すぐに玄関内側からロックできるよう対応した。各行事の後にアンケートを実施し、次年度に生かせるようにしている。 ○むつみの里全体:苦情解決制度に加え、「みなさまの声」による投書の受付や年1回実施する「利用者アンケート」にて利用者からの意見を伺う取組も行った。
(8)その他	

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
・サービス向上のための具体的提案 ・利用率向上のための具体的提案	○自立訓練事業:むつみの里内の他事業所に専門職連携として理学療法士がおもむき利用者を評価する取組を実施した。特別支援学校の体験研修を受けた。障害者生活支援センターや相談支援事業所へPR活動を実施した。 ○児童発達支援事業:区の親子教室や、児童センターの発達相談等で保護者から相談を受けると共に児童発達支援センターについて知ってもらう機会を設けた。月1回の園開放を行い、保護者のご相談も受けられる場を設けた。 ○むつみの里全体:見学会を年2回実施し、特別支援学校の学生や保護者と、関係機関へのPR活動が行えた。また、改めて魅力ある施設づくりを目指して、プロジェクトチームを立ち上げ、自主製品の検討を開始した。
職員の教育・研修の実施など、資質向上の提案	○児童発達支援事業:外部研修や内部研修を通して療育について学ぶ機会を持つと共に、学校や他施設との交流研修などに参加し広い視野が持てるよう学んだ。研修後は伝達研修を行い周知した。 ○むつみの里全体 ・利用者の支援において各関係機関と連携し、必要に応じ会議等を開き情報提供を行った。また、地域の特別支援学校等関係機関に出向き、広報活動を行った。 ・外部で開催されている研修へ積極的に参加した。また事業内での伝達研修の実施に務めた。 ・浦和特別支援学校への研修を実施し、学校での取り組みを学ぶことで、事業所での支援に生かすことができた。

3 評価

(1) 指定管理者による評価

○生活介護事業

- ・強度行動障害や医療的ケアについての知識の向上を図るため、他法人等への派遣研修を実施したり、外部研修参加、内部研修の実施を行った。
- ・人権擁護虐待防止の取組として個人ワークとグループワークを実施し、支援の振り返りを行うことで人権擁護の意識を高める機会を持った。
- ・各地域の関係機関と連携をしながら情報を得て、生活介護事業利用者や特別支援学校卒業生のニーズの深堀を行った。
- ・昨年度から実施している生産活動(さをり織り・リサイクル活動・菌床作業・自主製品)では、利用者の希望に合わせて実施し、工賃を支給できる体制を整えた。
- ・医療的ケアや強度行動障害の方たちを受け入れる体制を整えるため、研修に参加するなど職員のスキルアップを図った。

○自立訓練事業:送迎サービスの運用体制を見直し、送迎件数を増やし市民の利用促進を図った。

○就労継続支援B型事業:企業3社、法人1団体と契約を締結し、平均工賃が約3000円アップすることができた。

○児童発達支援事業:次世代の育成につながる実習生の受け入れを積極的に行った。保育所等訪問支援を通して幼稚園等に通うお子さんが地域で安心して過ごせる環境づくりや発達を支援した。むつみ祭や運動会など園全体の行事を行い、ご家族と参加できる機会を設けた。むつみの里全体としては、地域との交流を目的としたむつみ祭、を11月に実施した。地域の方々にもお越しいただき、にぎやかな行事となった。次年度に向けて地域住民の方々、関係機関との連携を更に図っていききたい。

○むつみの里全体:地域交流を目的としたむつみ祭を11月に実施した。地域の方々にもお越しいただき、にぎやかな行事となった。次年度に向けて地域住民の方々、関係機関との連携を更に図っていききたい。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局障害福祉部障害政策課)

総合評価(B)※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・就労継続支援B型事業に関して、新たな企業等との継続的な契約を締結し、平均工賃を向上させることで、利用者の目的意識の向上や達成感につなげた。
- ・強度行動障害等の知識を深めることを目的として、他法人等への派遣研修の実施や、外部研修への参加、内部研修の実施を行い市民の平等利用への配慮、サービス向上を行った点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・施設内のこまめな消灯やエアコンの設定温度の確認など、節電対策を徹底した点を評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・定期保守点検や日常点検を適切に実施し、利用者への影響を最小限にするよう努めていた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

来年度以降も適正な管理運営を継続するよう指導していく。また、利用者の満足度向上にむけて、指定管理者の取組みを見守るだけでなく、市として関与できる部分については連携していきたい。